



海を越えた交流

米国テメキコラ市ホームステイ研修

旧中山町が平成6年から交流を続けている米国カリリフォルニア州テメキコラ市に11月29日から9日間中山支所長ほか5人が訪問しました。公募で参加した方の感想を紹介します。



小谷紀子さん
(下甲)

この度、姉妹都市「テメキコラ」の訪問研修に参加して、10年以上続いているこの交流がどうなものが体験してきました。

市長表敬訪問、市役所内見学、マルガリータ中学校訪問、どこに行つても懐かしそうに迎えてくださる姿があり、10年以上の積み上げられた努力と歴史を強く感じました。そして、テメキコラ市の急速な発展や行政の考え方などを聞くにつれ、参考になることがあるのではと感じました。

ビンテージビルズ小学校では全校集会の場を訪れたのですが、生き生きとした子どもたちとアクティビティな先生方を見て、その場を盛り上げる工夫の重要さを感じました。全校集会はいつも校庭。そうか、雨が降ることなんか気にしなくていいのだ、と日本との気候の違いも実感しました。

シニアセンターで、お茶と折り紙の紹介をすることができました。その日は朝から着物を着ました。その日は朝から着物を着て、私なりに日本文化紹介に挑戦。抹茶をおいしいと言つておかわりをする人、干菓子がきれいで感動してくれる人。もつともう思ひます。これからは、「私たちにできること」を主眼にした交流も重要なかと思いました。

「百聞は一見に如かず」と言



お茶摘み娘姿でクリスマスパレードに参加

いますが、まったくそのとおりです。教育システムや校舎の違い、家族のあり方、夫婦の姿、食生活などなど、アメリカの一旦を垣間見ただけですが、確認できしたこと、考えさせられることが多くありました。この研修

をどのように町内に還元するのか、どう生かすのか、私なりに考えてみたいと思います。

数年後の定年に向けて、今までに無い別の一歩を踏み出すきっかけになりそうな予感と、国際交流が世界平和につながると信じて、私なりの国際交流をスタートさせようと思います。

5日間のホームステイでは、ご主人がとても協力的でした。一緒に食事したり、夜遅くまでゲームをしたり、休日にはバルボアビーチへ出かけ、最終日にはホストの祖父母宅で夕食をごちそうになつたりと、アメリカのライフスタイルを共に体験すことができました。

この様な経験をたくさんの方にしていただきたいと思うとともに、国際交流をすることで子どもたちが将来に夢や希望を持て生活してくれることを願っています。

思い切って参加し、素晴らしい体験と忘れられない感動に、本当に良かつたと思いました。

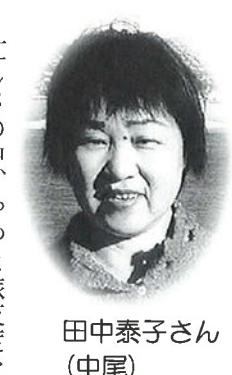
訪問の先々で温かく歓迎を受けたり、交流の足跡をこの目で見て、今までの交流が上手く行われているのを実感しました。

訪問したチルドレンミュージアムの中は、子どもたちの知恵を伸ばし夢を膨らませるよう、大変よくできていました。また、テメキコラ市の大イベントであるクリスマスパレードに参加できたことは最高の体験でした。

また、クリスマスパレードに参加したり、小学校、中学校、チルドレンミュージアム、シニアセンターなど見学し、日本との違いを実感しました。そして、暮らしぶりの違い(将来をしっかりと見据えた生活)、家族間でのコミュニケーションのとり方など、感心させられる事もたくさんありました。これからもこの研修事業が続き、たくさんの方々、特に若い人たちに、どんどん参加していただきたいと思います。



田中瑞恵さん
(潮音寺)



田中泰子さん
(中尾)